

◇避難訓練 事後学習【10月30日（火）実施】

生徒たちは実際に歩いた津波浸水想定区域外までの距離と、各自で計測した避難にかかった時間から、自分の平均速度を求めた。そして、その平均速度を、さらに夜間・液状化を考慮した場合の**避難速度（※）**に換算し、災害時の避難に要する時間と津波到達時間との比較を行った。

【参考】愛知県市町村津波避難計画策定指針（愛知県 平成 27 年 2 月）

（※）避難速度 = 実際に歩いた時の平均速度 × 0.8（夜間を考慮）× 0.65（液状化を考慮）

例えば、今回の訓練参加生徒の平均速度は 4.15 km/h であったため、
避難速度 = $4.15 \times 0.8 \times 0.65 \approx 2.158 \text{ km/h}$ となる

なお、愛知県市町村津波避難計画策定指針における夜間・液状化を考慮した場合の**健常者の避難速度は、1.38 km/h**としている。

その結果、生徒たちは津波浸水想定区域外までの避難には、時間的に余裕があることを実感することができた。そして、多くの生徒が、「元気な中学生なら、困っている人の助けになれる」「率先避難者となって地域の方を守りたい」といった思いをもつことができた。さらに、訓練を通して、自分のことだけでなく、要配慮者の視点からも避難のあり方について考えることのできる生徒たちもいた。

【生徒の振り返り】

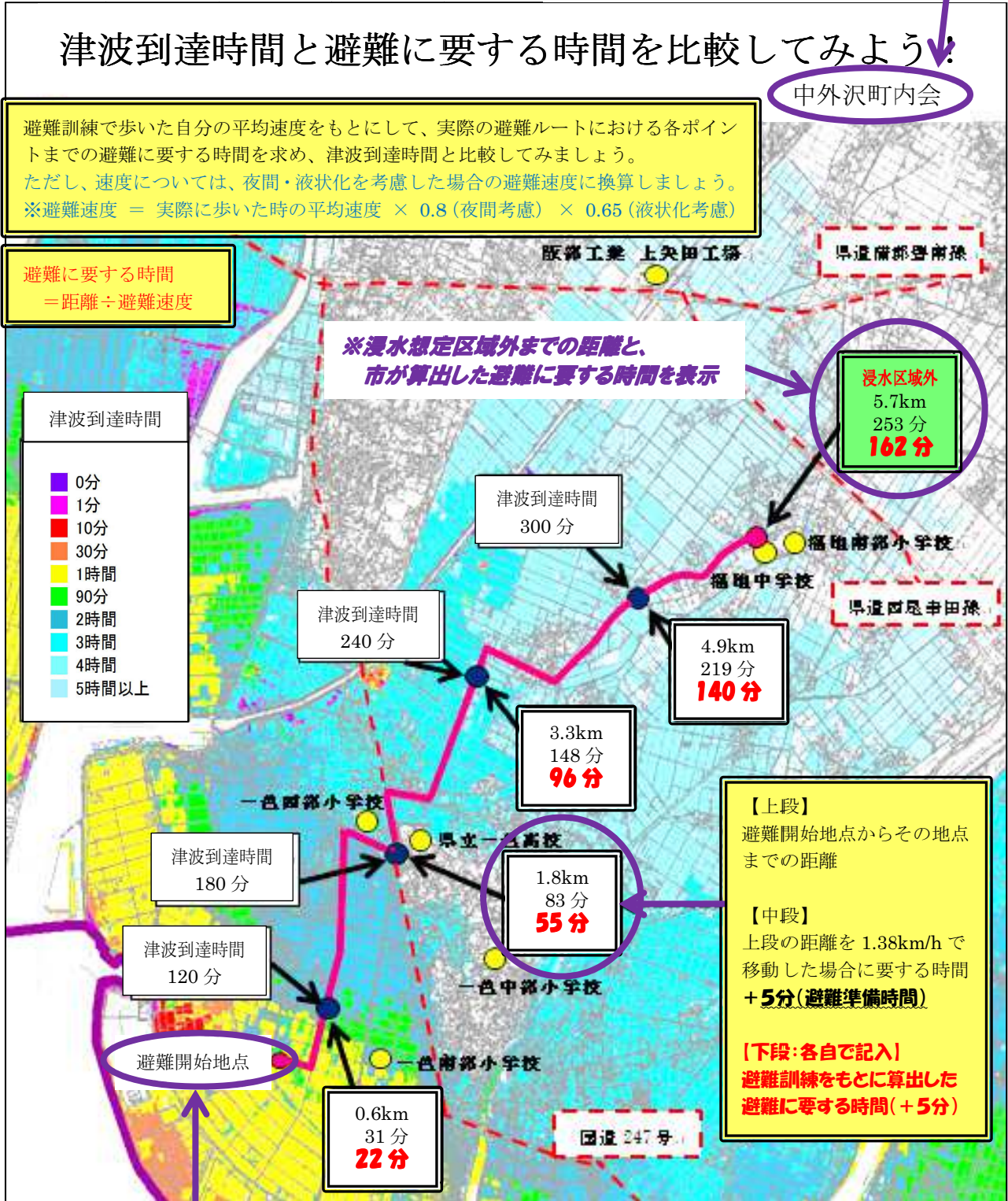
- ・夜間で液状化の状況でも、津波が到達する前に避難できることが分かりました。いざという時には率先避難者となって、逃げ遅れた人や困っている人がいたら声をかけたり誘導したりして、周りの人を助けられるようにしたいです。
- ・津波到達時間と比較して、時間的に余裕があって安心しました。でも、実際に避難する時は訓練のようにスムーズにはいかないこともあると思うので、焦らず、早めの避難を心がけたいです。
- ・僕の祖父は足があまりよくないので、時間がこれだけあるのなら、一度歩いたことのある僕が引っ張っていたり、荷物を持っていたりしてあげたいです。
- ・時間的にも余裕で避難することができたけど、小さい子どもやお年寄りの方と一緒に避難するとなるともっと時間がかかると思うので、本当に津波が来る前に避難できるか心配になりました。
- ・訓練で学んだことを家族や地域の方に教えていきたいです。でも、避難経路をみんなが知っていた方がすばやく逃げられるので、地域全体で避難訓練をしてみたいです。



<事後学習で使用した地図>

(例) 中外沢町内会の生徒は、避難訓練では「一色南部小学校」を出発地点として実施したが、事後学習では、中外沢町内会において最長となる経路を示した地図（全戸に配付済）を使って検証した。

※町内会ごとに作成(28町内会で32パターン)



※中外沢町内会において最長となる地点

注) 図面については「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査 (過去地震最大モデル)」から引用